

## 中池見湿地におけるシナノセスジエンマムシ *Onthophilus silvae* と 文殊山におけるケンランアリスアブ *Microdon katsurai* の採集記録

浅利 裕太\*

Records of *Onthophilus silvae* in Nakaikemi Marsh, Fukui Prefecture, and *Microdon katsurai*  
in Mt. Monju, Fukui Prefecture

Yuta Asari\*

(要旨) 2016年6月16日に中池見湿地にてシナノセスジエンマムシを採集した。また、同年6月20日に文殊山においてケンランアリスアブを採集したので福井県内におけるこれらの種の初記録として報告する。

キーワード: 好蟻性昆虫, シナノセスジエンマムシ, モリシタケアリ, ケンランアリスアブ, トゲアリ,  
中池見湿地, 文殊山

シナノセスジエンマムシ *Onthophilus silvae* (図1) は、コウチュウ目エンマムシ科 (Coleoptera: Histeridae) に属する体長2.1~2.5mmの昆虫であり、国内では北海道、本州に、海外では中国、極東ロシアに分布する。本属の大部分の種は糞や腐敗有機物に集まるが、その中にあっても本種は例外的に好蟻性である。クサアリの巣のまわりを歩きまわる個体が発見され、個体数の多い普通種である。典型的な無関係共生者で、アリは本種の存在に気づかない。食性は不明であるとされる(丸山ほか, 2013)。

筆者は2016年6月16日に敦賀市中池見湿地(桜曲)のモリシタケアリ *Lasius morisitai* (図2) の巣にて本種を採集した。福井県では記録がなく、県内初記録と思われるため下記の通り報告しておく。その後も同地点で何度か確認でき、6月下旬に多く確認された。

シナノセスジエンマムシ *Onthophilus silvae*  
敦賀市中池見湿地(桜曲) 35.6N, 136.0E, 16-VI-2016,  
浅利 裕太採集, 丸山 宗利氏同定。

採集した個体は乾燥標本にして中池見ビジターセンターに収蔵した。



図1: モリシタケアリの巣から見つかった  
シナノセスジエンマムシ *Onthophilus silvae*  
(敦賀市中池見, 16-VI-2016, 浅利裕太撮影)



図2: モリシタケアリ *Lasius morisitai*  
(敦賀市中池見, 16-VI-2016, 浅利裕太採集 撮影)

\*福井県立福井農林高等学校, 〒910-0832 福井市新保町49-1

\*Fukui Prefectural High School of Agriculture and Forestry, 49-1, Shinbo-cho, Fukui, Fukui, 910-0832 Japan.

ケンランアリスアブ *Microdon katsurai* (図3) は本州に生息し、体長13~16mm程度で体色が緑色の金属光沢に輝く大型美麗種であり、いかなる日本産種とも容易に区別できる。オスは全体がほぼ単一色で、胸部に少し青色が混じる程度だが、メスは腹部後半が紫色に輝く。このような顕著な種であるにもかかわらず、国内で発見されたのは比較的最近である。これは本種がトゲアリと密接なかわりがあり、季節と場所が限定されるからとされる。6月中旬から下旬に出現する(丸山ほか, 2013)。

筆者は2016年6月20日に本種を福井市文殊山にて採集したので県内初記録として下記の通り記録しておく。その後、近くのトゲアリ *Polyrhachis amellidens* (図4) の巣でも確認できた。

ケンランアリスアブ *Microdon katsurai*

福井市文殊山 35.9N 136.2, 20-VI-2016, 浅利裕太採集, 丸山宗利氏同定。

採集した個体は乾燥標本として筆者が所蔵している。

トゲアリ *Polyrhachis lamellidens*

福井市文殊山 35.9N, 136.2E, 20-VI-2016, 浅利裕太採集, 浅利裕太同定。

福井県内ではまだ好蟻性昆虫の調査があまりされず、今後調査していけば更に県内未確認の種が見つかるものと思われる。また、ケンランアリスアブの寄主であるトゲアリは環境省絶滅危惧Ⅱ類に指定され、福井県では要注目に指定されているため(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室編, 2015; 福井県安全環境部自然環境課編, 2016)、今後も注目が必要だと思われる。

最後に本短報を作成するにあたり、九州大学総合研究博物館助教丸山宗利氏に種の同定をしていただきました。また、丸山宗利氏をご紹介いただきました。福井大学地域政策講座 生物学准教授保科英人氏、今回の発表の場を提供いただきました。福井市自然史博物館梅村信哉学芸員に謹んで感謝の意を表します。



図3: ケンランアリスアブ *Microdon katsurai*  
(福井市文殊山, 20-VI-2016, 浅利裕太撮影)



図4: トゲアリ *Polyrhachis lamellidens*  
(福井市文殊山, 20-VI-2016, 浅利裕太撮影)

#### 引用文献

- 福井県安全環境部自然環境課編, 2016, 改訂版福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 536+41pls.
- 丸山宗利・小松 貴・工藤誠也・島田 拓・木野村恭一, 2013, アリの巣の生きもの図鑑. 東海大学出版会, 208p.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室編, 2015, レットデータブック2014: 日本の絶滅のおそれのある野生生物5 昆虫類. ぎょうせい, 509+8pls.